



岩室村すてき発見

わたしの評価は

「海、山、平野と見どころ良いところはたくさんあるのにPR不足か、ちょっともったいないね」と話してくれた県外出身者のみなさん。「自然がなんといつても魅力なので、もつとそれらを前面に出し、家族単位で楽しめるような施設と合体できれば、いいんだがなあ」と答えてくれた三十代の男性など——このほかにも、みなさん、いろいろな考えをお持ちだと思えます。

それでは、実際に岩室村のどこが良いのか、悪いのか、また不足している点やこれからもっと伸ばしていく点など、ひとつチェックなどしてみませんか。名付けて「岩室村ふるさと創生——元気度チェック」。三ページにある1から15までの質問に答えてみてください。別に難しい質問ではありませんので、鉛筆片手に

気軽にチャレンジしてみてください。

お父さんの点数は？お母さんの点数は？おじいちゃんや子供たちはどうか？ご家族それぞれが点数を付けてみて、いろいろな角度から話し合ってみるのもおもしろいんじゃないでしょうか？

さて、みなさんは岩室村の元気度に何点つけられましたか。次のコーナーでは三人のかたから登場してもらい、村づくりのヒントを語っていただきました。それぞれ、みなさんと見方が違う場合があるかもしれませんが、底流にある「ふるさとを愛する心」はみな同じものだと思います。これらの中から共通するもの、必要なもの、そして将来のビジョンなどを総合的に考えて、魅力のあるそして元気な村づくりをしなければなりません。



佐藤 巖さん (岩室・64歳)

「心の豊かさを地域づくりに」

20点

岩室村の村づくりというか地域の活性化はやはり温泉が大きな原動力だと思います。でも正直いって温泉地としては施設面（温泉地らしさ）で少し力不足の気がします。そのため、それを

カバーする意味からも、岩室の人情味といった精神面での充実が必要な気がします。朝、散歩をする観光客に「おはようございます」と気軽にあいさつができるような心のふれあいづくりが大切です。これはお金もかからず、まさしく値千金。でもそうなるまでにはなかなか勇気のいることですね。しかし、生活は人と人とのふれあいですから、そんな気持ち面でのアピールがすばらしい地域づくりにつながるのでは。また環境面では、矢川の堤防敷をもう少し整備するのいいと思います。



神田 みどりさん (和納12区・34歳)

「緑を生かした村づくりを」

18点

夏休みなんか友人や知人などが訪ねてくると、岩室村はとても良い所だといえます。私自身、自然がいっぱいで、環境的にも、人間性とも、とても住みよい村だと思います。でも自然が豊

富なわりには、公園などの公共施設の緑が少ないような気がします。それにあったとしても、その管理や手入れが不十分でちよつと残念です。これからは、もっと環境緑化などもやってほしいですね。それに村内のあちこちに街路樹なんかもあるといいですね。村のイメージアップにもなるんじゃないかしら。それと、村内にはいろんな公共施設があり利用しているんですが、もっと身近かなところに、もつと気軽に利用できる文化・スポーツ施設なんかもできたらいいと思います。

「手づくりPRでパワーアップ」

16点



竹内 正秀さん (和納7区・36歳)

岩室村は自然に恵まれ、それに農業漁業、観光などがあり、本当にいいところです。知名度的にも広く知られてきているようですが、でもパワー的にはまだまだだと思います。村民自体、

岩室村をよく分らない人も多いんじゃないでしょうか。だから、まず、そんな人たちにもつと村自身をPRし、そのうえで岩室村の知名度やパワーアップがもつと図れたらいいと思います。それもあまりお金をかけない、手づくりPRなんかができるなら最高ですね。それと、これからは村づくりや地域の活性化が大切だと思います。そのためにも、その柱となる基本計画なんかを作り、それも一般の人たちにもわかりやすい具体的なものを打ち出し、村づくりを進めていってほしいですね。

あなたのアドバイスを

(伊) わたしの評価は20点

●岩室村を元気にするアドバイス
岩室村を自信を持ってPRするためには、村のことをよく知ることが大切ですね。学校の授業や各種合会を通して、岩室村のことを知ることで、自分自身も元気をもらえますよ！

●住所 岩室村 和納7区
●電話 092-4111

ヒントやアドバイスをいただいたかたには、粗品を差し上げます。

「岩室村ふるさと創生・元気度チェック」——さて、みなさんは何点をつけられましたか。広報いわむろでは、みなさんから村に元気をつけるためのヒントやアドバイスをいただきました。考えています。もちろん、「ふるさと創生」についても生の声をお聞かせいただきたく思います。お手数でもハガキにあなたの評価点数、村へのアドバイスなどを書いて広報係に送ってください。どんなことでも結構です。岩室村のふるさと創生や少しくでも村のすてきを発信したいとお考えのみなさんの熱いメッセージをお待ちしています。

(届いたメッセージは随時広報で紹介してみたいと考えています) ところで、村に元気を与えるというてもいろいろな方法がありますね。例えば、特産品づくりを中心にした取り組みやイベントを企画し観光誘致にもつなげる、また自然や人情味といった「味わい」をアピールするなど外へ向けた発信(村おこし)から、生涯学習やコミュニティ活動などを通じ、心

も結構です。岩室村のふるさと創生や少しくでも村のすてきを発信したいとお考えのみなさんの熱いメッセージをお待ちしています。

(届いたメッセージは随時広報で紹介してみたいと考えています) ところで、村に元気を与えるというてもいろいろな方法がありますね。例えば、特産品づくりを中心にした取り組みやイベントを企画し観光誘致にもつなげる、また自然や人情味といった「味わい」をアピールするなど外へ向けた発信(村おこし)から、生涯学習やコミュニティ活動などを通じ、心

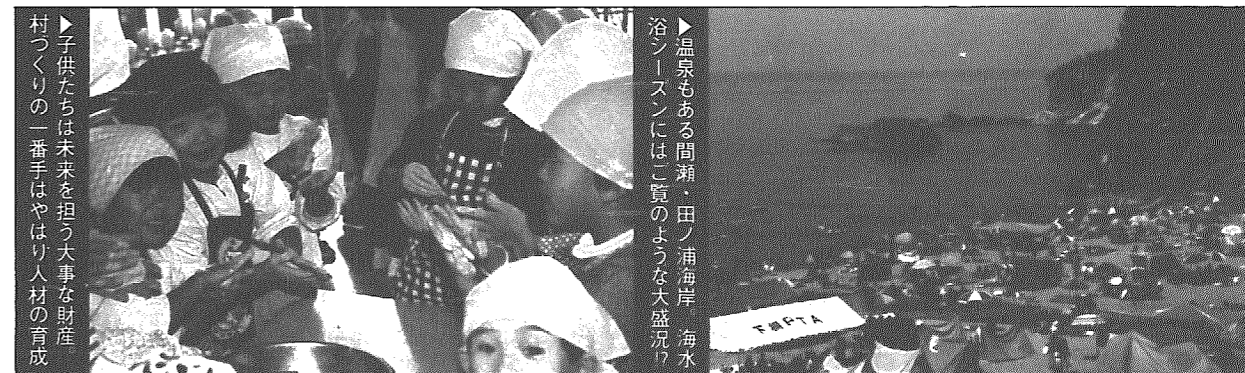
の豊かさといったものを支援する内に向けた発信(村づくり)などそれぞれ手法は数多くあると思います。

しかしながら、村(行政側)がいかに「元気な村づくり」に参加してみませんか、と呼びかけても、みなさんが知らんぷりでは、それこそ机上の空論に終わってしまいます。村づくりやふるさと創生といったものは、役場や家の中で考えているだけでは、すてきなアイデアも発想も生まれてきませんね。たくさんの方に集まってもらい、意見を交換するとか、ふれあいの

機会場があつてこそ、はじめて実現するのではないのでしょうか。「別にいままでのままでいいんじゃないの」と思うか、「少しずつでも何かに挑戦していかなければ」と考えるのでは、それこそ、天地、雲泥の差——岩室村のどこを伸ばしていけばいいのかわからないところを改善していけばいいのかわからないの豊富な知恵袋から少しヒントを与えてください。そして一緒に考え、実践し「岩室村はできる」という評価を村内外から得られるように盛り上げてみましょうよ……。



和納12区・三田団地上空からの空撮 弥彦・多室のシルエットが印象的。



子供たちは未来を担う大事な財産 村づくりの一番手はやはり人材の育成

温泉もある間瀬・田ノ浦海岸 海水浴シーズンはご覧のような大盛況！